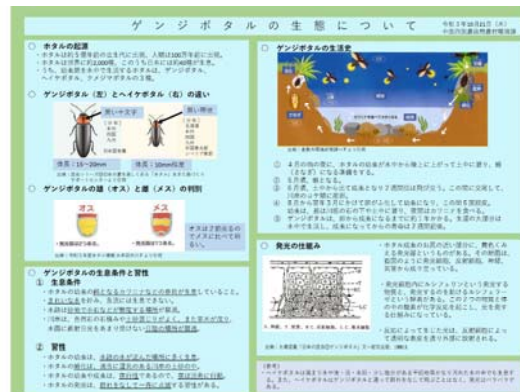


水土里レポート

投稿月日	令和3年11月 9日
タイトル	蛍の幼虫放流会・パックテスト(水質検査)出前授業
水土里レポーター名	水土里ネット吉井川下流 前田 明彦

昨年は、台風の影響で中止になった蛍の幼虫の放流を令和3年10月21日(木)に岡山市立御休小学校5年生を対象に開催しました。また、同時に放流地点の水のパックテスト(水質検査)の出前授業も行いました。

今回の放流会の先生として、中国四国農政局農村環境課の前園課長に放流するゲンジボタルの生態と農業農村の多面的機能について説明をしていただきました。



ホタルの生態説明を受けた後に実際の幼虫を観察し、水路の中で代表者によるパックテスト用の放流場所の採水を行ったあと、みんなで環境保全のため水路清掃を行い、その後蛍の幼虫を全員で放流しました。



放流会のあと小学校に戻り、理科室にてホテル放流場所の水のパックテスト（水質検査）を行いました。 ・パックテスト項目（PH、リン酸、アンモニウム態窒素、COD）



また、放流場所の検査の次に、水道水に生活で身近なものを混ぜて何がどのくらい水質に影響するかの実験も行いました。各班ですべて違うものを混ぜるで試験薬の色の変化を見比べたところ、こんなにも混ぜるもので水質が変わるんだと驚いていました。

☆パックテストの感想文の紹介

- ・たくさんのゴミを捨てないと汚れた水にならないと思っていたけど少しの量でこんなにも悪くなることがわかりました。
- ・目に見えないけど汚いものが入っていることが分かったのでこれから気をつけようと思います。
- ・自分たちが守らなければいけないことが分かった。

☆今回の放流会、パックテスト（水質検査）を振り返って

- ・用水路を管理する改良区として、ホテルの放流やパックテスト（水質検査）を通じて自然環境の保全に向けた意識を持ってもらうことが出来たと考えています。また、感想文の中でゴミを捨てない、注意する、僕たちが守るんだという言葉があり大変うれしかったです。

